

児童、1億円重たい!?

東濃信金 多治見市で金融教室

東濃信用金庫の職員「後児童クラブ」「市之倉
による金融教室が、多小学校たじっこクラ
治見市市之倉町の放課「ブ」で開かれ、児童が



模擬紙幣で1億円の重さを実感する子どもたち＝多治見市市之倉町、市之倉小学校たじっこクラブ

楽しみながらお金について理解を深めた。

子どもたちにお金の役割や価値、金銭感覚を学んでもらおうと、10年以上前から毎年校区を変えて開いている。市内10店舗の支店長ら12人が同クラブを訪れ、1～6年生25人が参加した。

「旧500円札は使えるか」「お札を作っているのはどこ」などのクイズや、お札の数え方の練習、10キある1億円分の模擬紙幣を持つ体験が行われた。買い物体験もあり、子どもたちは模擬の300円を握りしめてジュースやお菓子などを購入。おこづかい帳に記入し、計画的にお金を使うことの大切さを学んだ。

(有我友香理)